

## 【厚生・スポーツ】

・中川五郎治（1768～1848）

＝種痘に大野牛を使った＝

日本種痘術(法)の創始者。エトロフでロシアに捕えられ、シベリアに送られた。そこで種痘術を学んだ。

帰国後、文政7年(1824)、松前地方で天然痘が流行り、五郎治は、日本で初めて種痘を行い、多くの人を救った。

痘苗には大野牛が使われた。

○伏見勇蔵（1866～1949）

＝函館オーシャン初期の中核選手＝

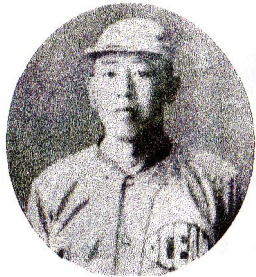
大野村下町(本町)生まれの野球選手。東京の中学校では野球に長けていた。

道内へ戻り教員となり、明治42年(1909)、函館弥生小学校教員で函館太洋倶楽部(オーシャン)に迎えられた。

捕手、4番打者として活躍した。大野ダイヤ倶楽部への援助も

惜しまなかった。

④猛練習大野ダイヤの技光る



伏見勇蔵

## 【箱館戦争】

○大鳥圭介（1832～1911）

＝意富比神社の戦いを制した＝

榎本軍陸軍奉行。後に外交官。

明治元年(1868)、鷲ノ木に上陸し、新政府軍を峠下で、さらに意富比神社境内での戦いで撃退した。

榎本軍は蝦夷を治め、大鳥は陸軍奉行となった。翌年降伏し東京で投獄され、同5年に許されて開拓使に出仕する。学習院長、清国や朝鮮の公使などを務めた。

○永井夔伸斎と網代清四郎

＝箱館戦争で戦死した＝

明治2年(1869)、両士は有川の戦いで亡くなり、縁あって大野光明寺に葬られた。

永井は噴火湾防備から大野を経て矢不來で指揮し、有川で撃たれ自害した。

網代は額兵隊に属し、陸、海の攻撃にさらされ、有川で戦死した。

墓には両士の名が刻まれている。



なお新政府軍の墓もある。

①両軍の御霊を祀る戦没者の墓

両士の墓

## 個別リーフレットに掲載

## 【産 業】

○高田万次郎＝稲作に不朽の功績を残した＝

○藤田市五郎＝郷土の開拓に尽くした＝

## 【教 育】

○木村文助＝大野の綴り方を全国に紹介した＝



木村文助

## 【文 化】

○上田 仁＝大野が生んだ大音楽家＝

○小山内龍＝昆虫による漫画の世界を追求した＝

## 【箱館戦争】

○土方歳三＝北の激戦地台場山を死守した＝



④熱血漢いのちをかけた古戦場

紙芝居「大野と箱館戦争」に載る土方歳三